

外国人向け日本語教材のイラストレーター募集

独立行政法人国際交流基金日本語国際センター（※注）では、外国人向け日本語教材のイラストを描いてくださるイラストレーター2名を以下のとおり募集します。募集にあたっては、コンペ方式とさせていただきます。皆様のご応募をお待ちしております！

※注：国際交流基金は、世界の全地域で、総合的に国際文化交流事業を実施している外務省所管の独立行政法人。「文化芸術交流」、「海外における日本語教育」、「日本研究と国際対話」の3つの分野で事業を展開しており、日本語国際センター(埼玉県さいたま市)は、同基金の附属機関として、日本語教材開発事業、海外の日本語教師対象の研修事業等を実施しています。

1. 教材に掲載するイラストについて

(1) 概要

海外で日本語を学ぶ外国人のための教材。人物の動作や表情、生活用品、食べ物、駅やお店の背景など、日本の日常生活で目にする様々なものをイラストにさせていただきます。完成した教材はPDF化し、WEBで無料公開します。

(2) 単価 サイズ・複雑さに応じて3,200円～6,900円（税抜）

(3) スケジュール

2024年12月から2025年7月にかけて、数十点ずつ発注・校正

(4) 全体に共通した作風

カラーで、シンプルでわかりやすいタッチをお願いします。成人を対象とする教材なので、子どもっぽい印象にならないようご注意ください。日本人と外国人（複数の国籍）の会話場面が多くあるので、描き分けも必要です。

(5) 著作権

完成したイラストについては、世界各地の日本語教育支援（日本語教材の制作・普及、日本語教師・学習者支援など）の目的に限定して使用することを条件に、期間の定めなく、国際交流基金及び当基金の定める第三者によって二次利用させていただくこと、氏名表示権を行使しないことに同意いただきます。

二次利用の範囲としては、原案のまま、または一部をトリミングして使用することを可能としますが、加工や改変は行いません。イラストは教材テキスト内に掲載するほか、単体でダウンロード可能な状態でWEB上に公開いたします。なお、イラストの利用により当基金及び第三者が収益を得ることはございません。

【二次利用の具体例】

ダウンロードしたイラストを使用して、教材に関連した授業で使用するワークシート等の教材を作成、無料配布の刊行物に掲載（国際交流基金日本語国際センターの出典名を必ず明記）。

【二次利用が不可な例】

教材と関係のないコンテンツへの使用、有料の刊行物に掲載、他のウェブサイトへの掲載。

2. コンペについて

コンペでは2パターンのイラストについて募集します。パターン①②のどちらかを作成してください。（①②の両方を作成していただいても問題ございません。）

作成にあたっては、『いろいろ 生活の日本語』（<https://www.irodori.jp.go.jp/>）の指定のイラストイメージを参照してください。なお、課題の制作費については応募者のご負担となります。

<パターン①>

- (1) 募集人数 1名程度
- (2) サイズ 5cm 角
- (3) 作風 写実的で物の特徴が分かりやすいイラスト
- (4) 課題 以下 A、B のイラストを作成してください。(国の設定は日本)
 - A 交通が不便 (初級1第5課1ページを参照)
 - B きりたんぼ (初級2第3課3ページのタッチを参照)
- (5) 実際に依頼する場合の点数は約 50~150 点 (教材制作の状況により前後します。)

<パターン②>

- (1) 募集人数 1名
- (2) サイズ 7cm 角
- (3) 作風 シチュエーションイラスト、参照する『いろどり』のイラストの雰囲気違和感なく継承していることが望ましい
- (4) 課題

BBQ について複数人が相談しているイラスト一枚を作成してください。
登場人物は4人(日本人1人+外国人3人)の同僚。メンバーは長谷川さん(他の3人よりはちょっと年上、日本人男性)、ヨウさん(活発そうな中国人女性)、マルコさん(コロンビア人男性)、ノイさん(おとなしそうな小柄なラオス人女性)。
会社の休憩室で BBQ の準備について相談している4人。後ろに自販機が並んでいて、丸テーブルに丸くなって座っている(両脇の2人が内側を向いている感じに)。それぞれ缶ジュースや紙コップの飲み物を手にしている。4人の頭上に吹き出しで BBQ (バナナを焼いている) の風景を入れる。
初級1第11課2ページのイラスト及び15ページのスク립トを参照。
- (5) 実際に依頼する場合の点数は約 50~80 点 (教材制作の状況により前後します。)

●提出締め切り

9月20日(金) 17時 ※日本時間

下記4. に記載のメールアドレス宛にデータ(jpg.またはpng.形式)でご提出ください。

担当者より折り返しご連絡いたします。

3. その他

必要に応じて、オンライン/電話/対面での打ち合わせをお願いします。(対面の場合、当基金規定に基づき交通費を支給可)

4. 応募・問い合わせ先

国際交流基金日本語国際センター教材開発チーム

青山、長澤

nc_shinkyozai@jpf.go.jp

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-36

TEL 048-834-1183 / FAX 048-831-7846 <https://www.jpf.go.jp/j/urawa/>